



三丁目の笑顔

なん・ぽん・さん

南 本 三

はじめまして！南本町三丁目景観づくりの会が発行する景観まちづくり情報誌「なん・ぽん・さん」です。タイトルの「なん・ぽん・さん」は南本町三丁目の略「南本三」から名付けました。これから南本町三丁目の「ヒト・モノ・コト・バ」を中心にした面白い情報を集め、定期的に発行していく予定です！

南本町三丁目
景観づくりの会
2018年1月発行

- ◎三丁目のヒト …大川幹生さん
- モノ …高橋飴屋さんのピンと木彫り飾り
- コラム …三丁目にウーパールーパーがいたー！
- コト …雁木通りのれん飾り
- 豆知識 …『南光会』って知っていますか？



第15回雁木通りまつりの様子

三丁目のヒト

ご近所この人・ご存じでしたか「なるほど！」な人生



●南本町三丁目の「大川先生」

大川幹生さんと言われてもピンとこず、「大川先生」と言われたら誰もが知っている、南本町三丁目生まれ育った生粋の我が町内人。今回はそんな大川先生に少しだけお話をお伺いしました。

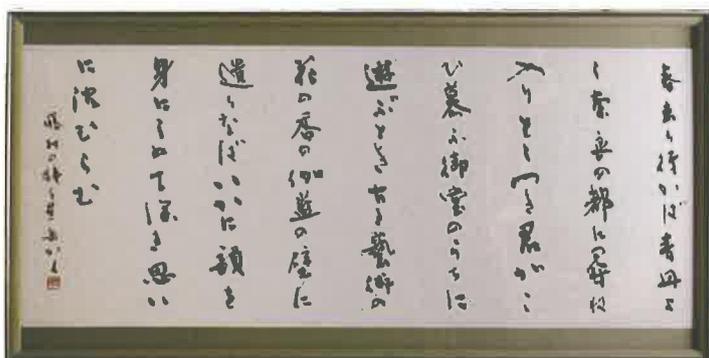
町内で家業の製綿業を今の所で営んでおられて、その二階が書道教室でした。(現在は一階)

小学校三年生の時にお母さんに進められたことが書道を始めたきっかけで、その後高田中学(現在の高田高校)に書道部を立ち上げ、恩師「林 神岳先生」に書を学びます。その後、林先生や当時高田中学の校長小和田毅夫先生(皇太子妃 雅子様のご祖父)の勧めで、二十歳にして書道教室を始められました。

●書道教室について

子供たちを中心に一番生徒さんが多い時で150人程で、塾の日には雁木に100台程の自転車が並びご近所さんにご迷惑をお掛けしたと懐かしそうに話して下さいました。

現在は40数人程(子供は10数人)がこの塾に学び、県展始め多くの展覧会で受賞者を輩出しています。お弟子さんの中から現在は7名が書道教室を開いていて、その事が「書道人口を増やすことに少しでもお役に立てたかなと思っています。」と優しく微笑んでいらっしゃいました。



大川先生の作品。島崎藤村の詩を書にしたもので、平成21年に読売新聞社賞を受賞された作品です。



大川 幹生 (おおかわ みきお)

昭和8年4月・新潟県上越市生まれ

平成8年・藍綬褒章 叙勲

平成15年・瑞寶雙光章 叙勲

●書歴

新潟県展 14回連続入賞

2年連続 県展奨励賞受賞60回展記

念賞受賞後、県展無鑑査

他 多数の受賞歴

子供たちに教えるモットーを聞いてみると、「人には負けたくないという気持ちが必ずあるものです、そこを上手く向上心をくすぐって褒めてあげれば頑張るものです。」との事でした。なるほど。



大川先生の書は上越市立南本町小学校の体育館にも飾られ、子供たちの指針となっています。

●50年にもわたる保護司の活動

他にも多くの業績があり、その一つが50年にも渡る保護司の活動です。刑務所・少年院を25ヶ所も訪問され、成人・子供達とのふれあいの経験やお人柄から、多くの人達の心の支えになってこられました。多くの方々といろいろな面で関わり、育ててこられた方だからこそ、「大川先生」なんだと、改めて実感しました。貴重なお時間大変ありがとうございました。

【聞き手:石川】

三丁目のモノ

ご近所この店・栗飴のビンと木彫り細工・高橋孫左衛門商店



●美しいフォルムをした栗飴のビン

当初、栗飴の容器は、十返舎一九の「諸国道中 金の草鞋」に描かれているように曲げ物でした。その後ビンに変わりましたが、途中、缶も使われていた時期もありました。現当主・第十四代が軽いビンに変えようとした時に、ビンの販売元からビン作り職人の技術継承の為 是非使い続けてほしいとの要望もあり、栗飴の伝統と共にビンの伝統も続いています。現在ビンは主に、大(1,200g入)、中(720g入)の2種類ありますが、昭和40年頃まではこの他に、中より小さいビンやハート型のものがありました。現存する物は残念ながら無いとのことですので、どなたか所有している方がいらっしゃいましたら、是非ご一報下さい。



●店内ショーケースの枠を飾る木彫りの草花

これは、明治10年に東京・上野で開催された第1回内国勸業博覧会で購入したものだそうです。どなたの作品かは不明とのことですが、素晴らしい彫り物です。

逸話として、当初は、燻して焦げ茶色だったそうですが、十数年前に雇っていたアルバイトにきれいに掃除をしておくよう頼んだところ、ゴシゴシときれいに磨き上げてしまったそうです。そのため、当時の色合いとは少し違うものになっているそうです。



三丁目のコラム

三丁目に ウーパールーパーがいたー！



石川 悠希 さん画

Q: カメとウーパールーパーはいつ頃から飼われているのですか？

A: カメ、22年位。 ウーパールーパー、14年位かな？

Q: ニックネームは？

A: カメは太郎。ウーパールーパーはウーちゃん。

Q: どちらも水槽の中で飼われていますが、掃除など誰がお世話をしているのですか？

A: 太郎は、私・洋一です。ウーちゃんは、おじいちゃんです。

Q: ウーちゃんの好物は？

A: 糸ミミズ。

(冷凍糸ミミズチップ・ペットショップで販売)

Q: 太郎君が時々散歩しているのを見ますが太郎君の気持ちで一言！

A: 進路のじゃまはしないでね。ウサギさんに決戦を挑まれれば応戦(競争)しますよ。石川ファミリーは散歩してくれてるようだけど、只ついてくるだけー(笑)

Q: ペットは世話が大変ですが、家族のようで癒やされますよね！

A: 本当に本当に、今は大切な我が家の家族です!!

Q: 最後に一言ありましたら

A: 長生きしてほしい…それだけです。

ご存じの方もいらっしゃいますが石川酒屋さんには楽しいペットがいます。ウーパールーパーとカメ君、石川さんに一問一答でお伺いしました。

三丁目のコト

ステキに出来ました・雁木通りのれん飾り



●たくさんの方々のご協力を頂きました

皆さんご覧になりましたか？ 10月14日(土)から11月2日(木)まで、素晴らしいのれん通りが出来上がりました。

現在、地域の特性を活かした景観形成の一環として上越市と協働で「景観まちづくり」に取り組んでいます。今年度は雁木通りをより楽しい空間にすることを目指して、のれんづくりを行いました。

雁木通りに合ったのれんの色や南本町三丁目らしい絵柄を検討し、婦人会を中心に染色、縫製を行いました。10月14日(土)にのれん掛けワークショップを開催し、完成した約60枚ののれんに絵柄を入れ、雁木に飾りつけました。



雁木通りの景色にリズムが生まれ、普段とは少し違う空間になりました。のれんづくりを通してまちなみを考えていく取り組みは、来年以降も続けていく予定ですので、皆様も是非ご参加下さい。

三丁目豆知識

【南光会】って知っていますか？

●雁木通りを彩る南光会の街灯

3区と4区の雁木通りに商店の看板になっている白いあんどんが設置されていますね。脇には「南光会」と表示されています。実は看板としてよりも、街灯を目的として設置されたのです。

戦後間もなく夜道は暗く、つまづく危険があったり、女性は夜の通行や帰宅に大きな不安がありました。

そこで1946年に商店主24人で「南光会」をつくり、あんどんを設置しました。当時の女性工員達に「明るくしてくれてありがとう」と感謝されたそうです。平成24年10月に「防犯功労団体(上越市防犯協会長・上越警察署長連名)」として表彰されました。



いまでも電気代や維持管理は「南光会」で行っています。この活動が、現在三丁目の雁木通り全体に設置された街灯に繋がっていたのですね。

編集後記

この度、のれん飾りと併せ上越市との「南本町三丁目景観まちづくり」の活動の一環として、この「なん・ぼん・さん」を発行することとなりました。町内にいる私たちでも知っているようで、意外な情報を掲載しました。町内・雁木通りが少しでも明るく活発な町

になるようこれからも発行していきたいと思います。町内には他にも素晴らしい技術や趣味をお持ちの方が多くいらっしゃいます。取材にお伺いすることもございますので是非ご協力をお願いいたします。又、三丁目の七不思議があると聞きました。

ご存じの方、他にも三丁目にはこんな伝説があるよ、等是非お教えいただきたいと思っています。皆様が楽しく読める誌面にしたいと思います。

南本町三丁目景観づくりの会 会長
笠尾 日出夫